

イメージが異なります。

おそらく、同世代のビジネスマンなどは十分に理解していたと思うのですが、僕自身があまりに遅れていたと反省しました。

口 of 感覚

先日、ある方の入れ歯の調整をしていて、「右下の一番奥の方が痛い」という訴えがありました。その方は総入れ歯でしたので、入れ歯で調整しようと思いい口の中を観察しました。ところが、右下の歯ぐきはとてもきれいで傷などありません。軽く指で押さえても痛みはないようでした。ところが、ふつと見ると、ちょうど真ん中の内側（前歯の裏側）に白く傷ができていました。結構深く、痛々しい感じでした。「あっ、これか」と思い、

「ああ、真ん中でしたね」と声をかけると、「いや違う。右の奥」と言われてしまいました。そこで前歯の傷を指で少し触ると「ああ、そこそこ」と。

実は口の中の感覚、特に位置に関してはあいまいなのです。歯の中には神経があり、場所が特定しやすいのです。「奥から2番目の歯がズキズキ痛みます」などと正確に言うことができません。しかし、歯がなくなると歯ぐきだけになってしまうと、その位置感覚が鈍ってしまうのです。左右は分かるとしても、奥の方、前の方、内側、外側という感覚が鈍ります。

特に入れ歯は、面で粘膜を覆っているので不調の場所（痛い場所）がわかりづらいのです。入れ歯を調整するにしても、どの場所



がどのような不具合なのかを確かめるところから始まります。まずは一緒に、痛みの場所を探るところから始めましょう。

ケアする宅配弁当フェア

タベマチフォーラムの翌日、9月18日に「ケアする宅配弁当フェア」を開催します。新宿地域で配食サービスを行っている会社に来ていただき、各社の味はもちろんですが、それぞれのサービスについても解説いただきます。場所は、西新宿の東京調理製菓専門学校です。参加費は無料。ご興味ある方はぜひご参加ください。

